船橋市障害者生活支援事業相談室

相談室だより第1号

船橋障害者自立生活センター WAVEふなばし相談室 〒273船橋市湊町1-20-3ミナトハイツ102号 TEO474-95-6777 FAX0474-95-6776

相談室ってどんなとこ?

船橋市役所から徒歩4分、センター事務所 からは徒歩2分、両隣には自立生活を営む男 性が住んでいるワンルームアパートの一室が 私達の相談室です。狭い部屋には比較的新し い中古のワープロと、古いパソコンと、もっ と古いワープロ各1台、小さな冷蔵庫と机に 椅子、それに自慢の書類保存庫・ユニットト レーとパンフレットケース(このふたつは新 品なのだ!)が置いてあります。その部屋に 今までに電動車椅子の方4人、歩ける方9人 の計13人が入ったことがあります。超満員でした。

相談員は車椅子の経験豊かな男性と、一見 初々しい車椅子の女性と社会福祉士の3人で す。障害者の生活なら障害者自身が一番よく 知っている!というのがこの相談室の売りで す。何でもご相談下さい。一緒に悩み、考え、 解決する為努力する所です。

最近の相談から

7月10日の開室(といっても電気も電話も何も無かった)から9月末までに39名の方が述べ65回、85件の相談をして下さいました。中には交通事故で四肢マヒになった方のご家族で、良いリハビリ病院はないか、事故の示談、家の改造など一人で5件の相談を持ち込まれた方もありました。意外に多いのは障害のない方からの相談で、社会福祉士になるには?介助者になるには?などでした。みんな誠心誠意お答えしています。

深刻なケースはMさんで、癌が脊髄に転移 して下半身麻痺、在宅で生を全うしたいとの 相談です。2時間おきに体位交換が必要なの で、奥様が夜間休めるようセンターの介助者 を紹介しました。泊まりの介助者を探すコー ディネーターは大変ですが、見つからない日 は家政婦さんに頼んでもらって一緒に頑張っ ています。船橋市にもはやく24時間体制の ホームヘルパー派遣制度ができて欲しいと願 う毎日です。

ごく最近結婚相談もありました。どうなりますか、今後のなり行きが楽しみです。

(裏面もお読みください)

コラム心は花に

7月10日にスタートして3ヶ月。始める前は開設して それだけ人生とも、障害そのものともかかわっていなが 室ですが、うれしいことというべきか、どうかすると新 聞も見ない日があるほどの忙しさです。

いるのを読みました。

かたちこそみ山がくれの朽木なれ 心は花になさばなりなむ

「姿こそ山奥の枯れ木のように見るかげもないが心 なら花のようにも私はできる」という意味。「古今集」 の一首だそうですが、なぜかとても響くものがありまし た。

世の中に生をうけると同時になった身体障害。そう いう状態でのさまざまな長い月日があって、気がつくと もはや老人になっている。

も暫くの間ヒマで困るのではないかと思っていた相談 ら、これといった座右の銘を持っていなかったからでし ょうか? 胸の中でウロコが落ちたようでした。

演歌でいえば<ボロは着てても>と同じようなも そんな昨日の朝刊の隅で、けさはこんなうたが載っての。感心するほどのことではないでしょうが、そこが凡 夫のなんとやら、これだ、心は花にでいこうと思ったの です。

> 障害者自身が相談員にもカウンセラーにもなって働 く支援事業。その職場でもあり、拠点でもある相談室 は、たのしいことが先ず大切。気持ち一つで雰囲気も変 わります。自分の為にも、これぞ座右とまなこを開けた 朝でした。

10.2. (宮尾修)

人物紹介

渡辺由美子です。脳性麻痺の1種1級です。 私は、船橋障害者自立生活センター設立当初 より関わってきました。

でも気が多い私は、他の活動に浮気し、あ まりまじめに出勤していませんでした。

しかし、そろそろ自分自身自立を本格的に考 えなくてはと思うようになった事もあり、こ の7月から少し腰を据えて生活支援事業相談 室に週3日電動車椅子で通勤する事にしまし た。事務仕事は苦手ですが、精一杯パソコン と格闘して多少は実のある時間が過ごせるよ うになれたら良いなあと思っています。

そして働くばかりではなく、持ち前の明る い性格と遊び人根性をバネに、人間関係を円 滑に保ちながら楽しく生きていけ るすべを身につけたいと思います。 長期の休みが取れれば旅行、そう

でなければ仕事帰りの外食が日常の楽しみで す。読者のみなさん、お暇があったらぜひご 一緒して頂けませんか?

相談員などというおこがましい名前で相談 室に詰めていますが、私に出来る事があった らなんでも言って下さい。仲間として一緒に 問題解決に励みながらお互いが成長したいで すね。

編集後記

取り敢えず、船橋障害者自立生活センターの一部と して船橋市より委託を受けた生活支援事業が始まった 事を皆さんに知って頂く為の相談室だより1号が完成 しました。

パソコンの技術が未熟なので読みにくい所もあると思 いますが、徐々に勉強しながら編集していきますので ご了承下さい。 由美

子